

別表 評価基準

- 1 評価項目及び各項目の配点は次のとおりとし、各選定委員（5名）が採点する。
- 2 企画提案者の中で評価の総合点が最も高い者を契約候補者とする。
- 3 2に該当する企画提案者が複数あった場合は、見積金額が最も安価であった企画提案者を契約候補者とする。
 なお、金額も同額の場合は、当該者は、当初提案の金額の範囲内で価格提案書を再作成し、再提出された価格提案書の金額が最も安価な者を契約候補者として選定する。
- 4 企画提案者が1者であった場合、評価を行った上で、総合点が36点以上であれば、契約候補者として選定する。

No	評価項目	評価内容	点数	加重		配点
1	業務内容の理解度	委託業務の目的や内容について十分理解しているか。	5	× 2	=	10
2	提案内容の優良性	提案内容に具体性、妥当性、実現可能性があり、優れているか。	5	× 2	=	10
3	提案内容の独創性	既存の枠組みにとらわれることなく、独自の発想に基づく提案内容が含まれているか。	5	× 2	=	10
4	専門的知識	業務を遂行するために必要な類似事例に関する知見や専門的知識を有しているか。	5	× 2	=	10
5	業務実施の確実性	過去に類似の業務で実績を上げているか、これらの実績から成果が期待できるか。	5	× 1	=	5
6	業務遂行の安定性	提案内容を遂行できる人員の体制及びスケジュール等となっているか。	5	× 1	=	5
7	業務成果の中立性	適正公平な業務成果を示すことができるか。	5	× 1	=	5
8	必要経費	提案内容を確実に遂行できる経費となっているか。	5	× 1	=	5
					合計	60

【配点基準】

5	4	3	2	1
優	良	可	やや不良	不良